

平成30年度（繰越事業）志教総第6号

磯部中学校空調機設置工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙 図面リスト	M-01	機械設備工事 特記仕様書	E-01	電気設備 特記仕様書
A-01	共通事項	M-02	空調設備 図示記号 器具・機器表	E-02	電気設備 低圧分電盤結線図
A-02	付近見取図 配置図	M-03	空調設備 改修前 2階平面図	E-03	電気設備 1階平面図（改修後）
A-03	1階平面図	M-04	空調設備 改修前 3階平面図	E-04	電気設備 2階平面図（改修後）
A-04	2階平面図	M-05	空調設備 改修後 1階平面図	E-05	電気設備 3階平面図（改修後）
A-05	3階平面図	M-06	空調設備 改修後 2階平面図		
A-06	1階天井伏図	M-07	空調設備 改修後 3階平面図		
A-07	2階天井伏図				
A-08	3階天井伏図				
A-09	1階建具指示図				
A-10	2階建具指示図				
A-11	3階建具指示図				
A-12	建具表				
A-13	仮設計画図（参考図）				

特記仕様書： 共通事項・仮設工事

1. 共通仕様  
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)による。(以下「標準仕様書」という。)による。  
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。  
電気設備工事の工事仕様書は( / )図、  
機械設備工事の工事仕様書は( / )図による。  
(3) 改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。  
改修工事の工事仕様書は( / )図による。  
(4) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。  
2. 特記仕様  
(1) 項目は、番号に印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項の中で選択する事項(・印の付いたもの)は、印の付いたものを適用する。  
(3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4) 東海地震に係る地震防災対策強化地域域内における工事にあっては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)によって処理されたものとする。  
(5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.13]の規定を優先する。  
※ 工事期間内の、空調機器室内機の据付け工事は、4月27日から5月6日を主とする。

章項目

1 共通事項

特記事項

建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版)各図面において、(○-○○-○)内の数字は適用する上記詳細番号を示す。  
工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築編 建設大臣官房官庁営繕部監修  
・建築物解体工事共通仕様書同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成24年版)  
・三重県建設副産物処理基準  
[1.1.4]  
請負代金額が500万円以上(消費税込)の元請負人は、工事実績情報(財)日本建設情報総合センターの工事実績情報システム(CORINS)に登録するものとする。  
なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。  
また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。  
[1.2.1]  
概成工期  
総合試運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね( )日前までに支障のない状態まで完了していること。  
[1.3.3]  
電気保安技術者  
・適用する  
[1.3.5]  
施工条件  
○施工時間(・指定なし○受業に支障のない範囲とする)  
○施工順序(○指定なし○図示・)  
○工事用車両の駐車場(・指定なし○図示・)  
○資機材置場(・指定なし○図示・)  
○現場事務所(・指定なし○図示・)  
・建設発生土仮置場(・指定なし・図示・)  
[1.3.11]  
発生材の処理等  
・引渡しを要するもの(・金属類・PCB含有物・)  
・特別管理産業廃棄物(・廃石棉・)  
・現場において再利用を図るもの( )  
・引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成して監督職員へ提出すること。  
○引き渡しに要する以外のものには、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資材の有効な利用を促進する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し監督職員に報告する。  
(マテリアルA、B2、D、E票を提示し、集計表を提出すること。)  
・建設副産物情報交換システムの利用  
請負者は受注時において述べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出すること。  
また、工事完了後にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実施報告を行うこと。  
なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。  
本工事の施工にあたっては「建設工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。  
・特定建設資材の再資源化等  
本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法第104号 以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事(以下「対象工事」という。)である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。  
なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象となし、但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。工事契約後に明らかにになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。  
また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1「再生資源利用計画書(実施書)」及び様式2「再生資源利用促進計画書(実施書)」を兼ねるものとする。  
本工事が「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。  
建設リサイクル法・対象工事・対象工事外

章項目

1 共通事項

特記事項

別表1 建築物に係る解体工事  
工程ごとの作業内容及び解体方法  
工程作業内容分別・解体の方法  
○建築物設備、内装材等○無○手作業  
・屋根ふき材・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・外装材・上部構造部分・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・基礎、基礎ぐい・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・その他( )・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・別表2 建築物に係る新築工事等(・新築・増築・修繕・模様替)  
工程ごとの作業内容及び解体方法  
工程作業内容分別・解体の方法  
・造成等・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・基礎、基礎ぐい・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・外装材、上部構造部分・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・屋根・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・建築物設備、内装等・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・その他( )・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・別表3 建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等(・外構・工作物等)  
工程ごとの作業内容及び解体方法  
工程作業内容分別・解体の方法  
・仮設・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・土工・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・基礎・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・本体構造・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・本体付属品・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
・その他( )・有・手作業  
・有・手作業と機械作業の併用  
手作業・機械作業を併用する理由  
建築物設備の取り外し( )  
内装材料の取り外し( )  
屋根ふき材の取り外し( )  
[1.4.1]  
化学物質を放散させる建築材料等  
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。  
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上塗材は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
3) 接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
5) 1)、3)及び4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。  
ホルムアルデヒド放散量該当する材料  
規制対象外①JIS及びJASのF☆☆☆☆品  
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通省大臣認定品  
③次の表示のあるJAS適合品  
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用  
b. 接着剤等不使用  
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用  
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用  
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料  
第三種①JIS及びJASのF☆☆☆☆品  
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通省大臣認定品  
③旧JISのE0品  
④旧JISのF0品  
[1.4.2]  
1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。  
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

章項目

1 共通事項

特記事項

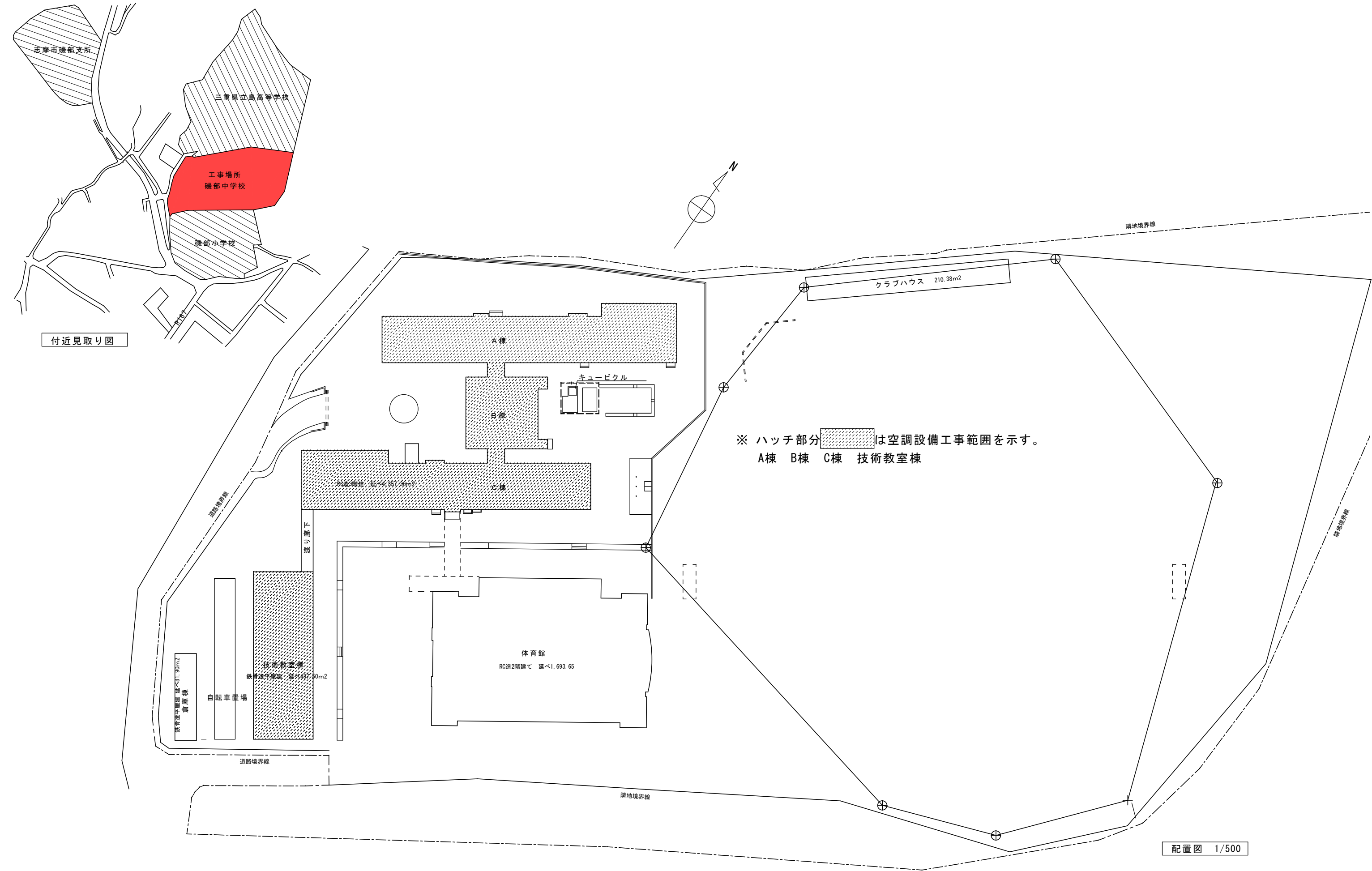
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
4) 本工事に使用する材料は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し等)を監督職員に提出し承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りでない。  
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
②生産施設及び品質の監理を適切に行っていること。  
③安定的な供給が可能であること。  
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を所得していること。  
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。  
6) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕替する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続性可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。  
7) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用につとめること。  
9 建設発生土の処理[3.2.5]  
・構外搬出適切処理  
・自由処分  
・処分地指定 処分地( )  
・処分地未定につき相互協議する。暫定搬出距離 8Km  
10 建設汚泥の処理  
本工事で建設汚泥が発生する場合は「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」の策定について(国営計第36号 平成18年6月12日)、「建設汚泥の再生利用に関する実施要領について」(国営計第38号 平成18年6月12日)に基づき建設汚泥の再生利用を行う。  
再生利用の種別・埋戻し及び盛土材として利用・  
再生処理方法・脱水処理・安定処理(セメント、石灰による改良処理)  
要求品質  
「建設汚泥処理土利用技術基準について(国営計第41号 平成18年6月12日)表ー4建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。  
・第3種処理土・  
[1.5.9]  
測定室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、報告すること。  
測定対象化学物質(●で示したものとする。)  
施設用途ホルムアルデヒドトルエンキシレンエチルベンゼンスチレンパラジクロロベンゼン  
学校教育施設●●●●●●  
住宅●●●●●●  
その他●●●●●●  
報告書提出部数 2部  
対象箇所(・図示・)  
測定方法・パッシブ採取による蒸気拡散式分析法・厚生労働省の標準法[1.7.1~3][表1.7.1]  
○完成図(施工図、施工計画書を除く)  
・新規に作成○既存完成図を修正  
記載内容は監督職員と協議する。  
完成図CADデータ(CD-R)  
○保全に関する資料  
提出・2部・  
○施工図(・)  
提出・原図及びその複写図1部・  
○施工計画書(・)  
○空調利用計画書(空調設置後の運用方式について、省エネに配慮した利用計画書を作成する事)  
提出○2部・  
本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に譲渡するものとする。  
製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に変わるものとしてよい。  
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。  
13 設計GL  
・設計GL=BM+ mm(現状地盤高は図示)  
14 騒音・振動の防止  
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。  
15 設備工事との取り合い  
本工事の施工範囲  
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強  
○図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強  
・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強  
・駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ  
施工図  
○設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

章項目


1 共通事項

特記事項

16 工事写真  
工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備(建設大臣官房官庁営繕部監修)を参考に撮影する。提出部数 1部  
17 完成写真  
撮影箇所数・外観4面程度  
本完成写真の著作権者の権利は、発注者に譲渡するものとする。  
提出内容  
○電子データ 1部  
画素:長辺で2880PIX以上  
記録方式:RGB(フルカラー)・JPEG最高画質  
記録媒体:CD-R(ISO)  
○カラープリント キャピネ版( )部  
アルバム(大きさ335mm×290mm程度)・無し・有り  
18 事故報告  
工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。  
19 養生その他  
工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。  
20 消防提出書類  
・消火器の設置届については、電気及び機械設備について設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。  
・防火対象物使用開始届については書類作成(建築図面の用意及び建築に関する部分の記述)を行うこと。  
21 主任技術者又は監理技術者の専用に要しない期間  
・現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの)期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。  
・検査終了後の期間  
検査完了後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。  
22 官公署その他への届出手続及び検査  
a 関係官公署その他への関係機関への必要な届出手続等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監理者に提出する。  
b 関係官公署その他の立会い検査を必要とするものは、監理者と打合せのうえ、検査を受け、その結果を監理者に報告する。  
c bの検査の結果、不合格の箇所がある場合は、すみやかに補正し、必要な手続を行い、その結果を監理者報告する。  
d cの補正に直接要する費用は施工者の負担とする。  
23 総合図の作成  
・総合図は、施工者が、発注者の直接発注工事を含めた工事の全体概要と相互関係を把握し、工種別施工図の適正化と効率化の為に活用することを目的とする。工種別施工図に先行して作成し、監理者の承諾を受ける。  
・監理者の指示により、建築工事施工者が元図(平面図、展開図、天井伏図等)を作成する。設備その他の各関連工事各施工者は、協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整をおこなう。  
・施工に関する調整は施工者間で行い、設計図書の調整、発注者の直接発注工事、及び設計変更に関する調整は監理者が行う。  
24 適用区分  
・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  
・風圧力  
風速(Vo)・30・32・34・36  
地表面粗度区分・I・II・III・IV  
・積雪荷重  
建設省告示 第1455号における区域 別表( )  
2 仮設工事  
1 足場[2.2.4]  
足場を設ける場合、[2.2.4](b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」(厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について(別紙1))における2の(2)手すり据置方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。  
2 監督職員事務所[2.3.1]  
・設ける○設けない  
規模(m2程度)・10・20・35・65・100  
3 監督職員事務所の備品等  
備品等の設置  
種類機・いす書棚黒板・白浜掛時計温度計  
数量組台個個個  
種類長靴雨合羽保護帽懐中電灯衣類のかけ  
数量足着個個個  
種類消火器掃除機請負者加入電話・FAXインターネット冷暖房機器  
数量個個台台台  
4 仮設便所  
構内既存の施設○利用できない・利用できる  
5 工事用水  
構内既存の施設・利用できない○利用できる(○有償・無償)  
6 工事電力  
構内既存の施設・利用できない○利用できる(○有償・無償)



付近見取り図

※ ハッチ部分  は空調設備工事範囲を示す。  
A棟 B棟 C棟 技術教室棟

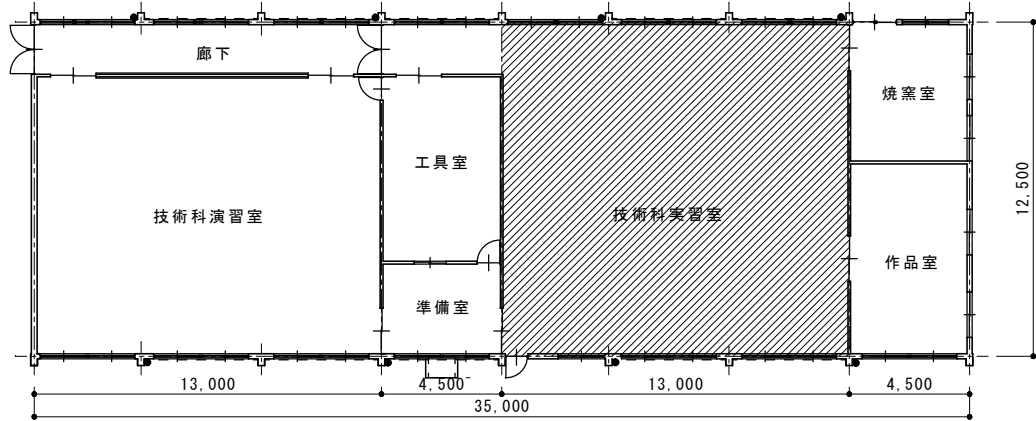
配置図 1/500

		松森建築設計事務所 三重県志摩市阿児町鶴方3368-5	一級建築士 設備設計一級建築士 松森 正晴	工事名称	平成30年度（繰越事業）志教総第6号 磯部中学校空調機設置工事	日付	A-02
				図面名称	付近見取り図 配置図	縮尺	

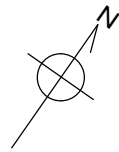


凡 例	
	空調機器の新設諸室を示す
	空調機器の更新諸室を示す（既設撤去・新設）
	改修範囲外

1 階平面図 1/200



技術科教室棟平面図



A 棟

B 棟

C 棟

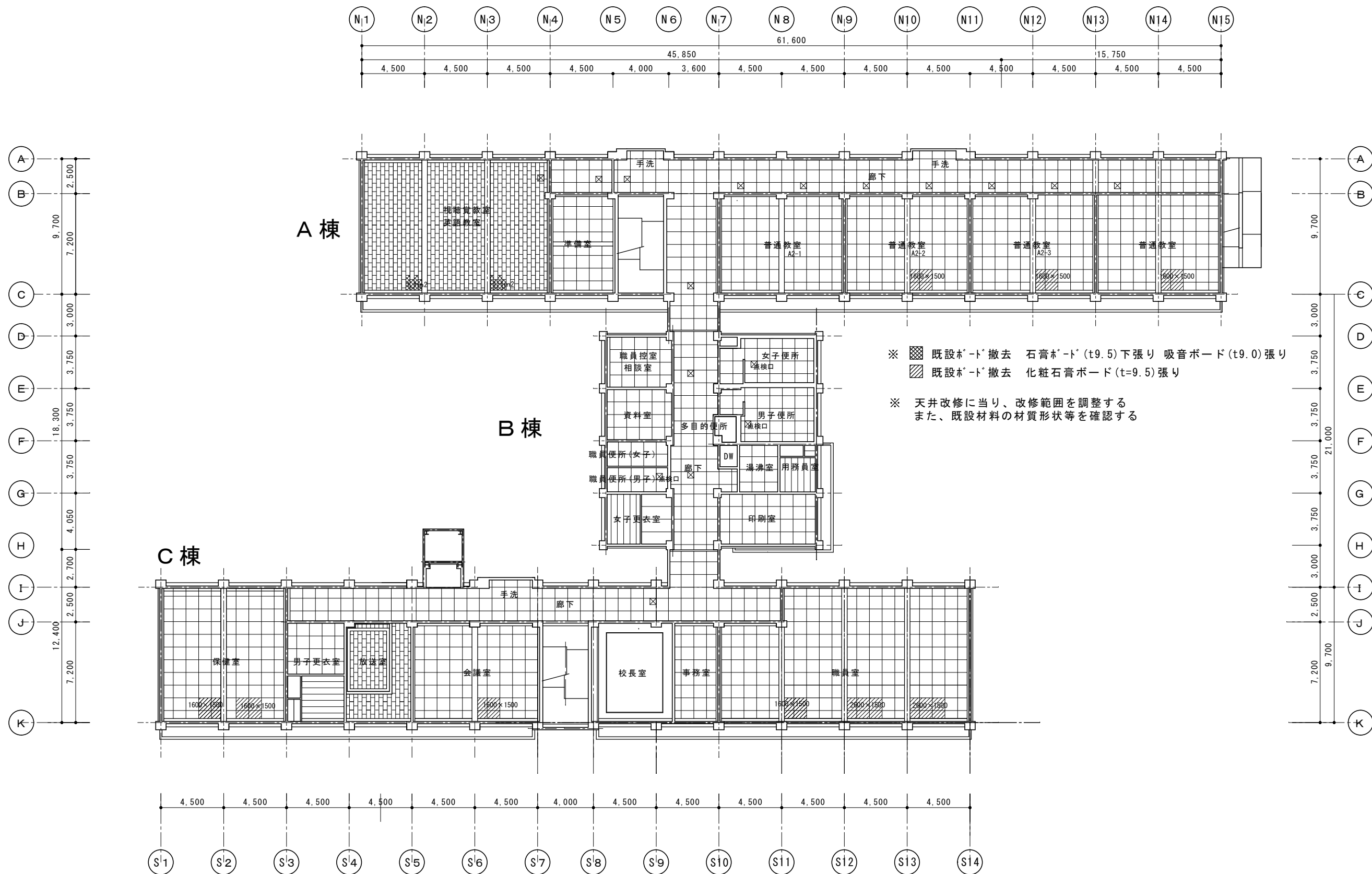


2 階平面図 1/200

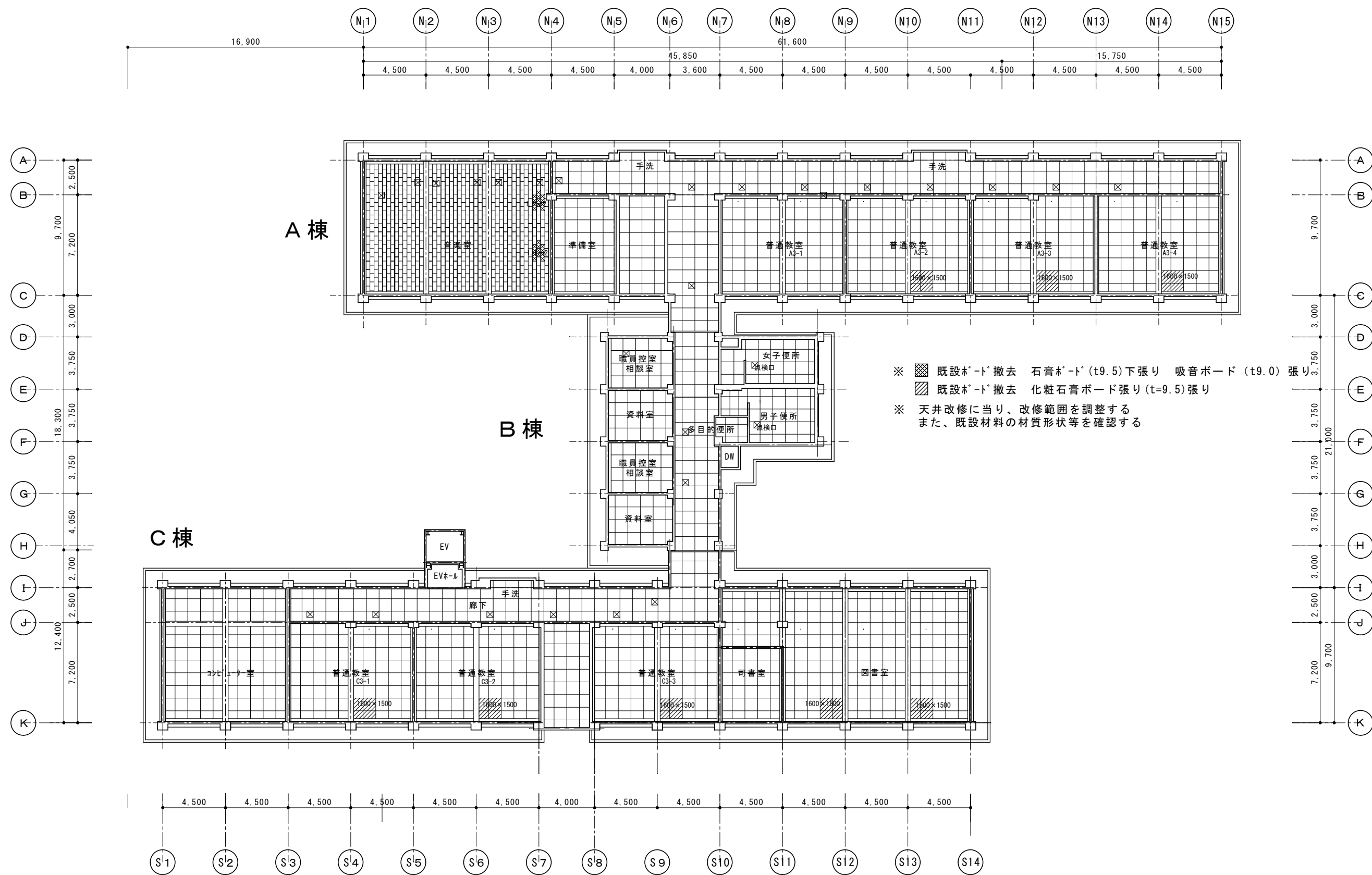
凡 例	
	空調機器の新設諸室を示す
	空調機器の更新諸室を示す（既設撤去・新設）
	改修範囲外

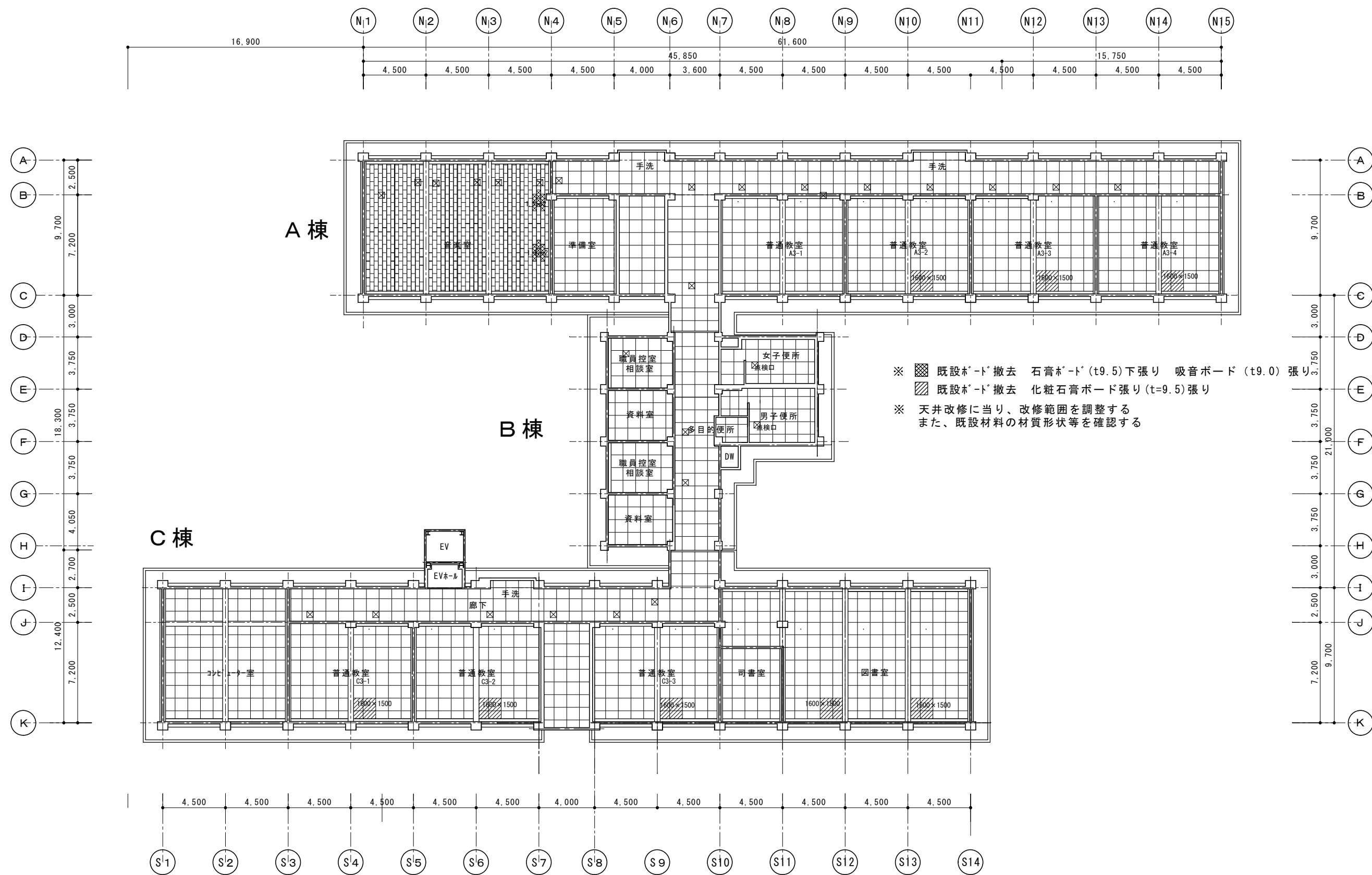




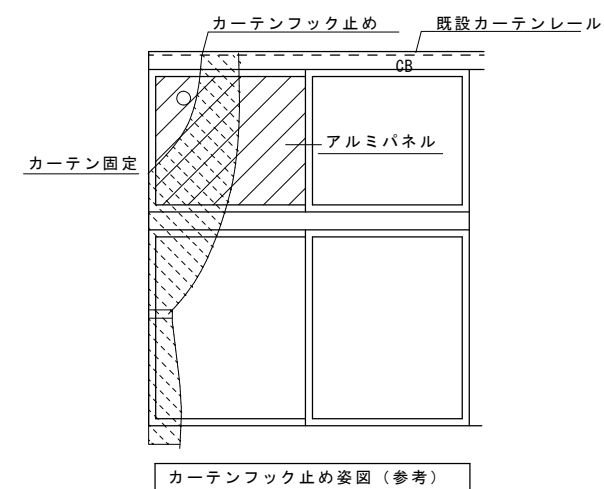




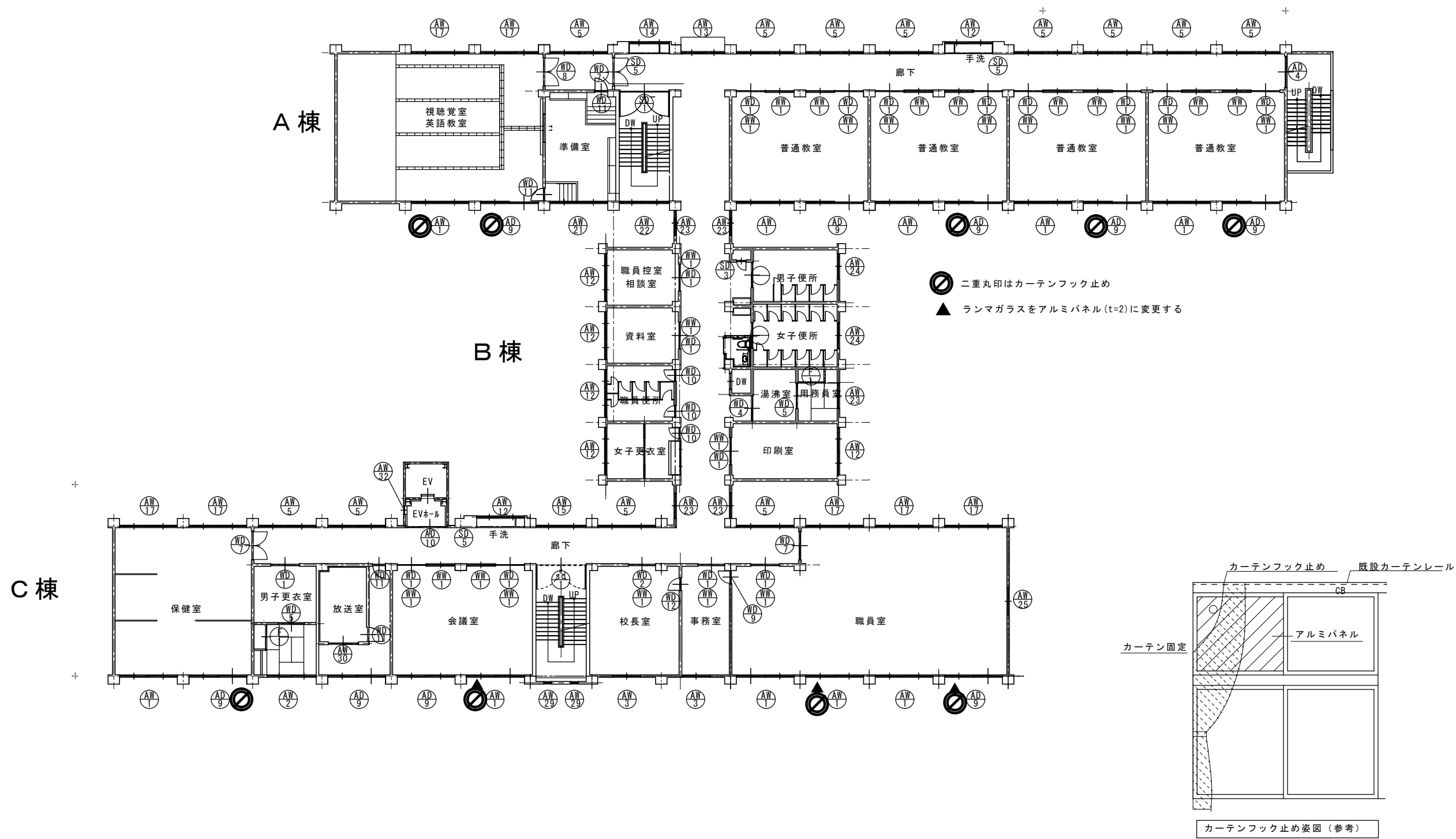


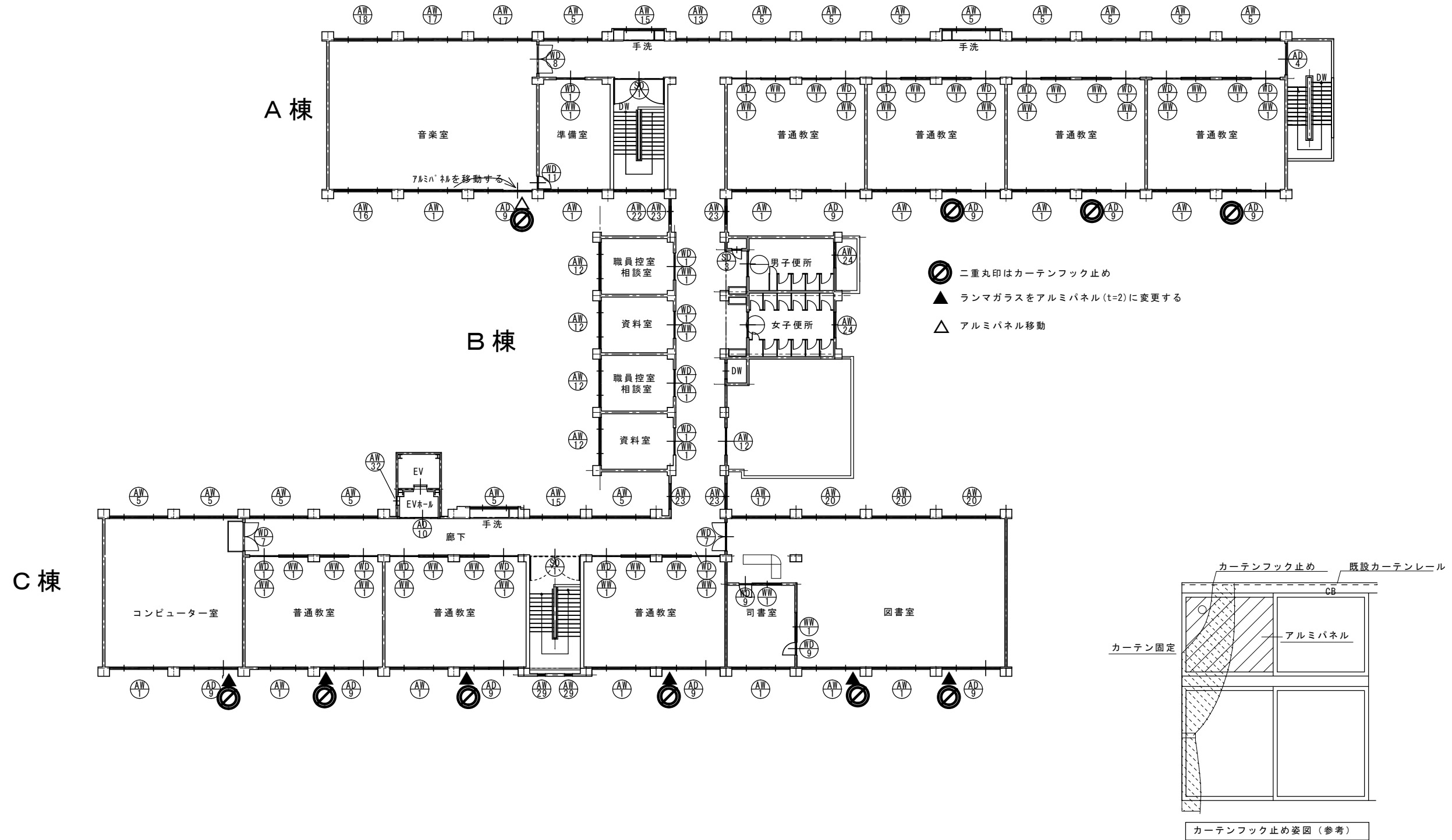


3 階天井伏図 1/200



カーテンフック止め姿図（参考）

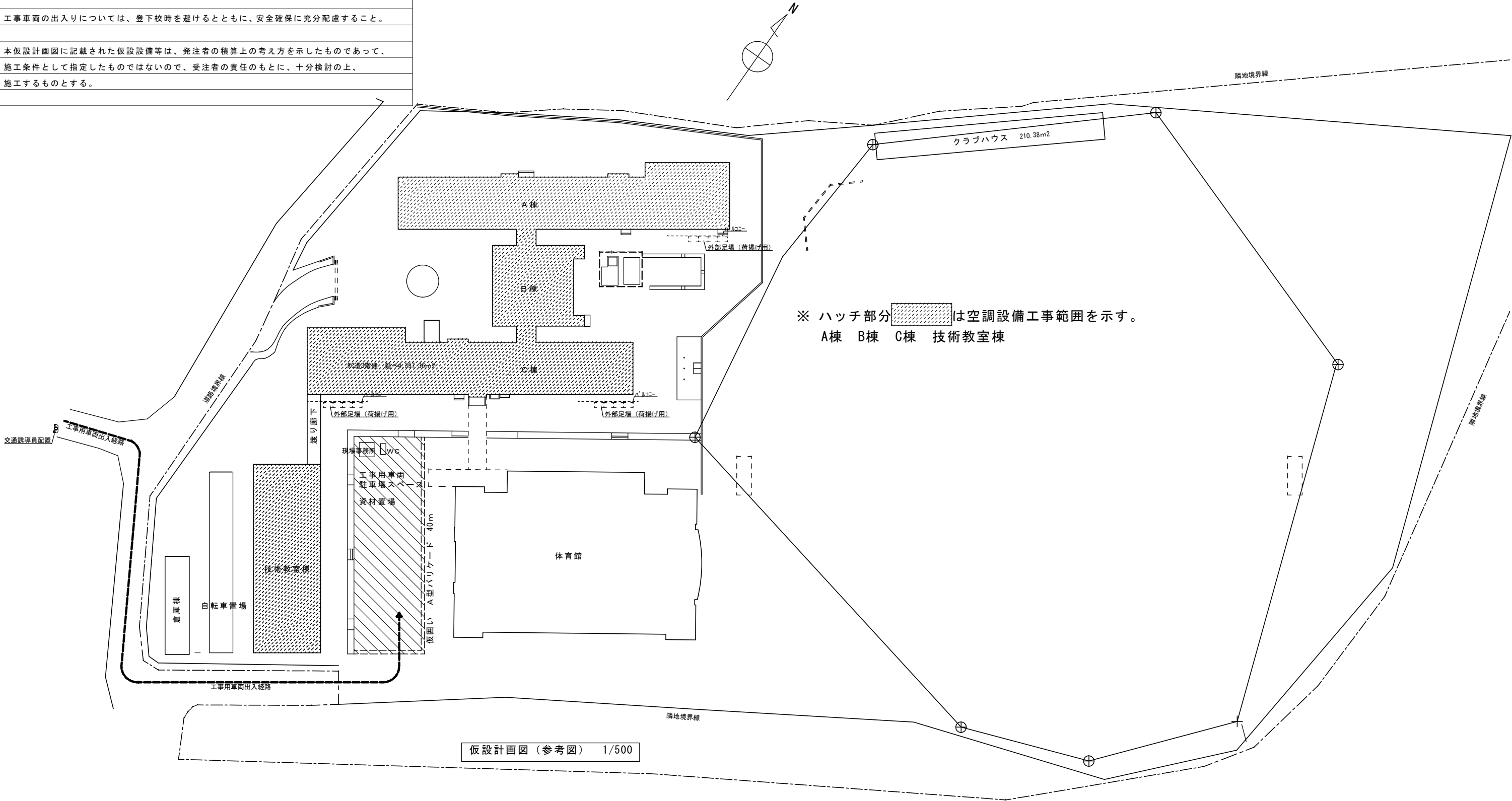




3階建具指示図 1/200

記 号	AD 1		AD 2	A棟階段室		AD 2	B棟階段室		AD 3	1階廊下	
場 所	昇降口 玄関										
型 式											
内 法											
数 量	4				1		1		6		
見 込	70								70		
付属金物	シリンク-錠 押板 フランス落し				飛散防止フィルム張り		飛散防止フィルム張り		改修サッシ シリンク-錠 引手		
硝 子	PW6.8 飛散防止フィルム張り								改修サッシ 強化ガラスFL4 飛散防止フィルム張り		
材 質	アルミシルバー										
塗 装											
備 考	シーリング				ガラスシーリング 改修		ガラスシーリング 改修		ガラスシーリング 改修		
記 号	AD 4		AD 5	配膳室		AD 6			AD 7	配膳室	
場 所	2,3階廊下										
型 式											
内 法											
数 量	2				1		1		1		
見 込											
付属金物					飛散防止フィルム張り		飛散防止フィルム張り				
硝 子	飛散防止フィルム張り										
材 質											
塗 装											
備 考	ガラスシーリング 改修				ガラスシーリング 改修		ガラスシーリング 改修		パネル シーリング		
記 号	AD 8		AD 9	2階 3階		AD 10	エレベーター室				
場 所	1階										
型 式											
内 法											
数 量	3				19		3				
見 込											
付属金物							飛散防止フィルム張り				
硝 子	飛散防止フィルム張り										
材 質											
塗 装											
備 考	ガラスシーリング 改修				パネル シーリング		シーリング 改修 不要				
記 号	AW 1		AW 2	男子更衣室		AW 3	校長室 事務室		AW 4	1階廊下	
場 所	1～3階 教室等										
型 式											
内 法											
数 量	48				1		2		12		
見 込											
付属金物							飛散防止フィルム張り				
硝 子									飛散防止フィルム張り		
材 質											
塗 装											
備 考	パネル シーリング				ガラスシーリング 改修		ガラスシーリング 改修		ガラスシーリング 改修		

注意事項
※ 外部足場：くさび緊結式足場（手摺先行型）H＝7.2m
※ バルコニーには脚立足場を設置する。 また、バルコニーでの作業については、墜落防止措置を講ずること。 （親綱を設置し、安全帯を着用すること。）
※ 空調屋外機等大型資材の荷揚げは、クレーン車とする。 上記以外の資材を、内部から搬入する場合は、養生を行うこと。
※ 工事車両の出入りについては、登下校時を避けるとともに、安全確保に充分配慮すること。
※ 本仮設計画図に記載された仮設設備等は、発注者の積算上の考え方を示したものであって、 施工条件として指定したものではないので、受注者の責任のもとに、十分検討の上、 施工するものとする。



注意事項
※ 外部足場：くさび緊結式足場（手摺先行型）H＝7.2m
※ バルコニーには脚立足場を設置する。 また、バルコニーでの作業については、墜落防止措置を講ずること。 （親綱を設置し、安全帯を着用すること。）
※ 空調屋外機等大型資材の荷揚げは、クレーン車とする。 上記以外の資材を、内部から搬入する場合は、養生を行うこと。
※ 工事車両の出入りについては、登下校時を避けるとともに、安全確保に充分配慮すること。
※ 本仮設計画図に記載された仮設設備等は、発注者の積算上の考え方を示したものであって、 施工条件として指定したものではないので、受注者の責任のもとに、十分検討の上、 施工するものとする。

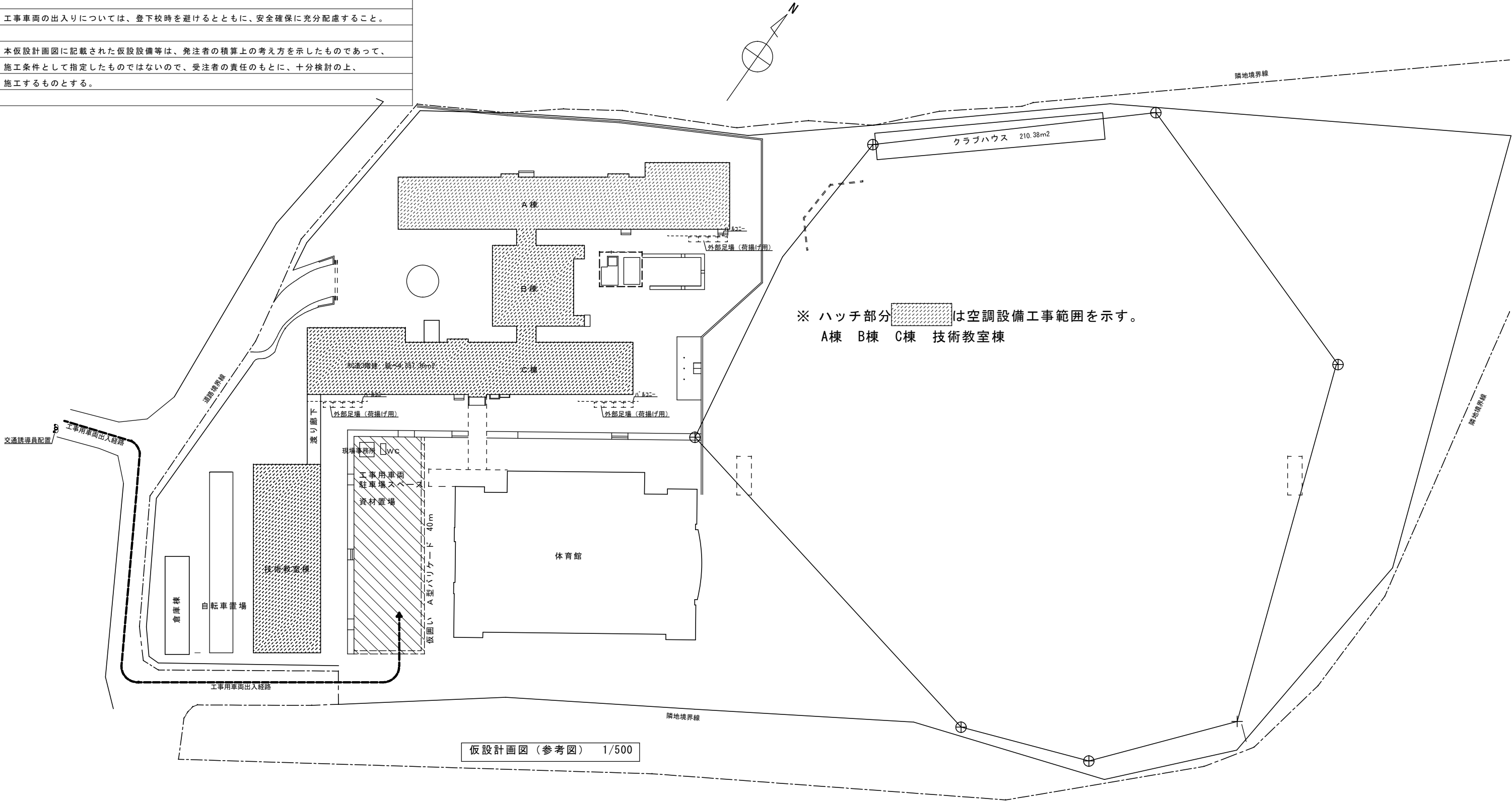







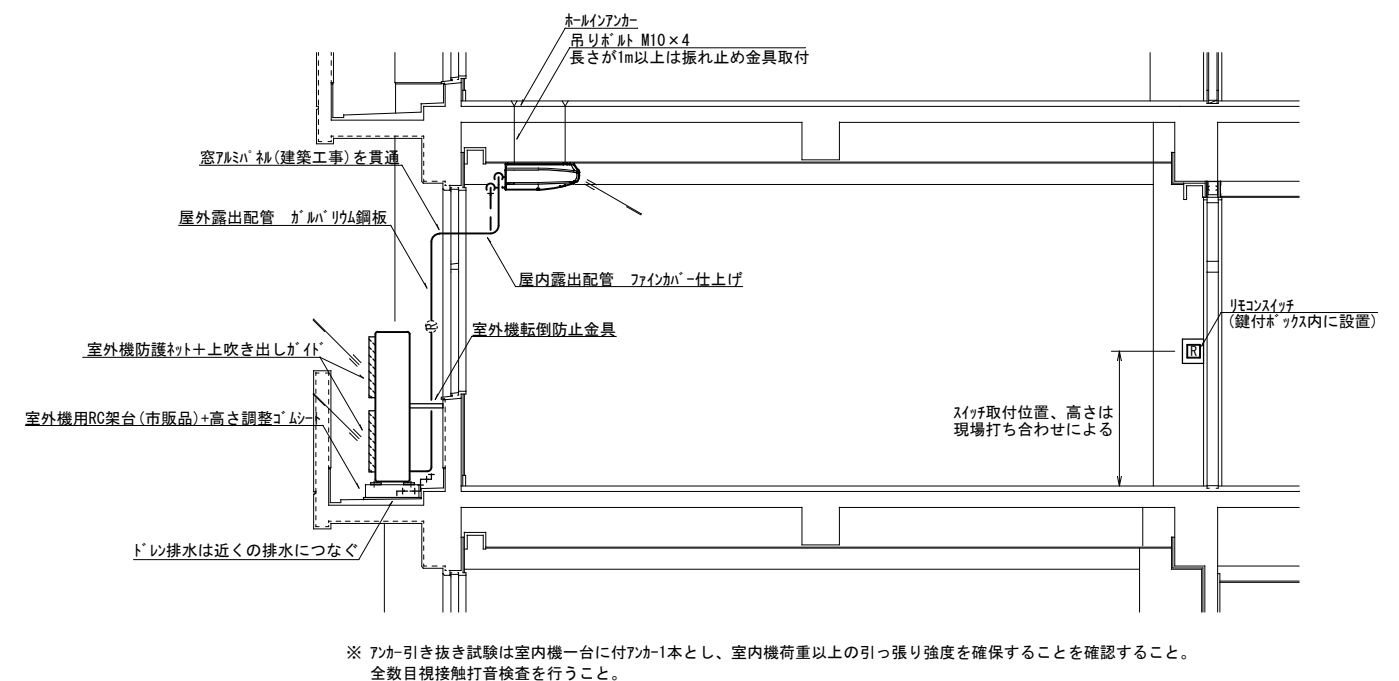
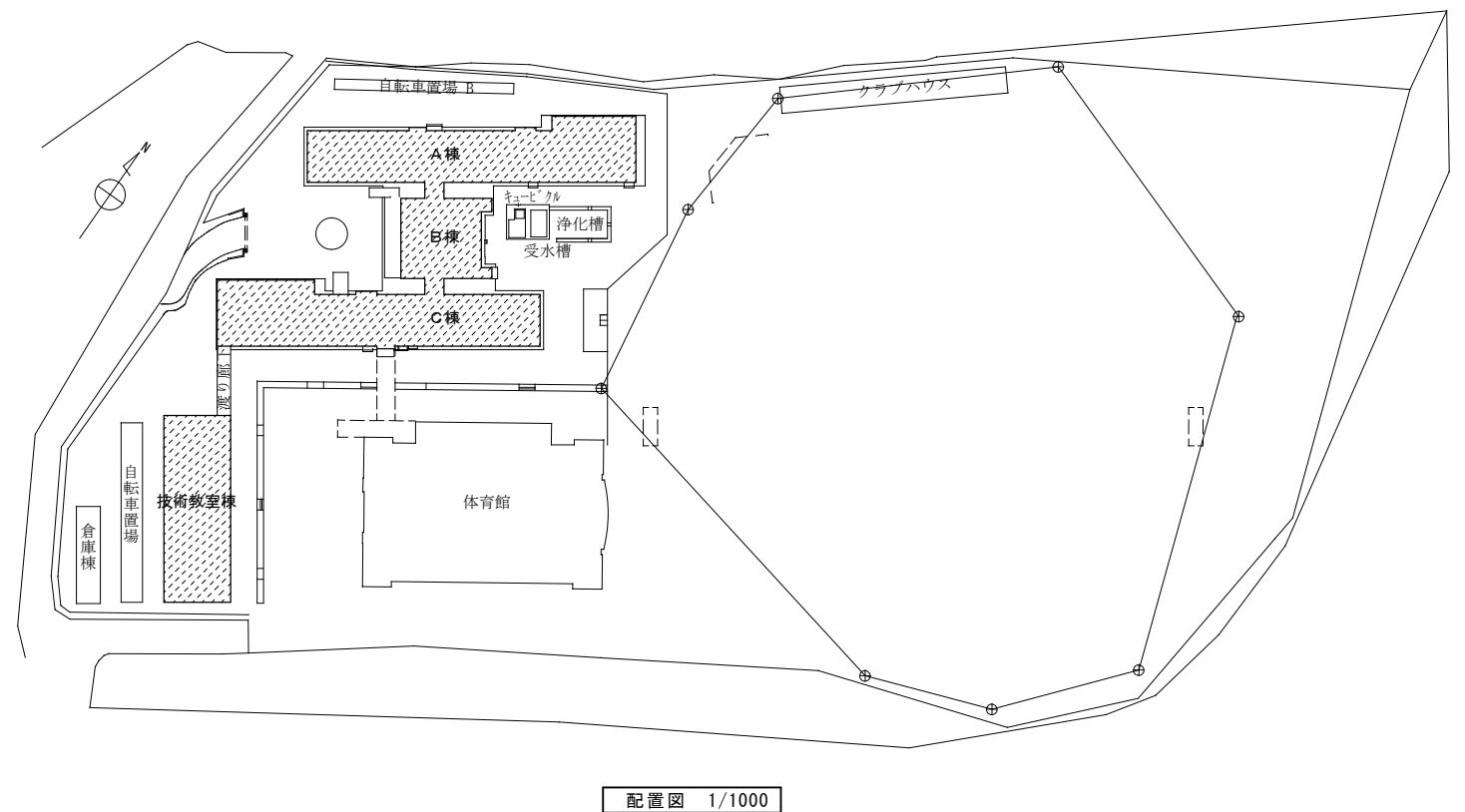
図 示 記 号

記 号	名 称	記 号	名 称
— R —	冷媒管	Ⓔ	リモコンスイッチ（鍵付リモコンスイッチボックス取付）
--- D ---	ドレン管		
	丸ダクト		

空調機器表

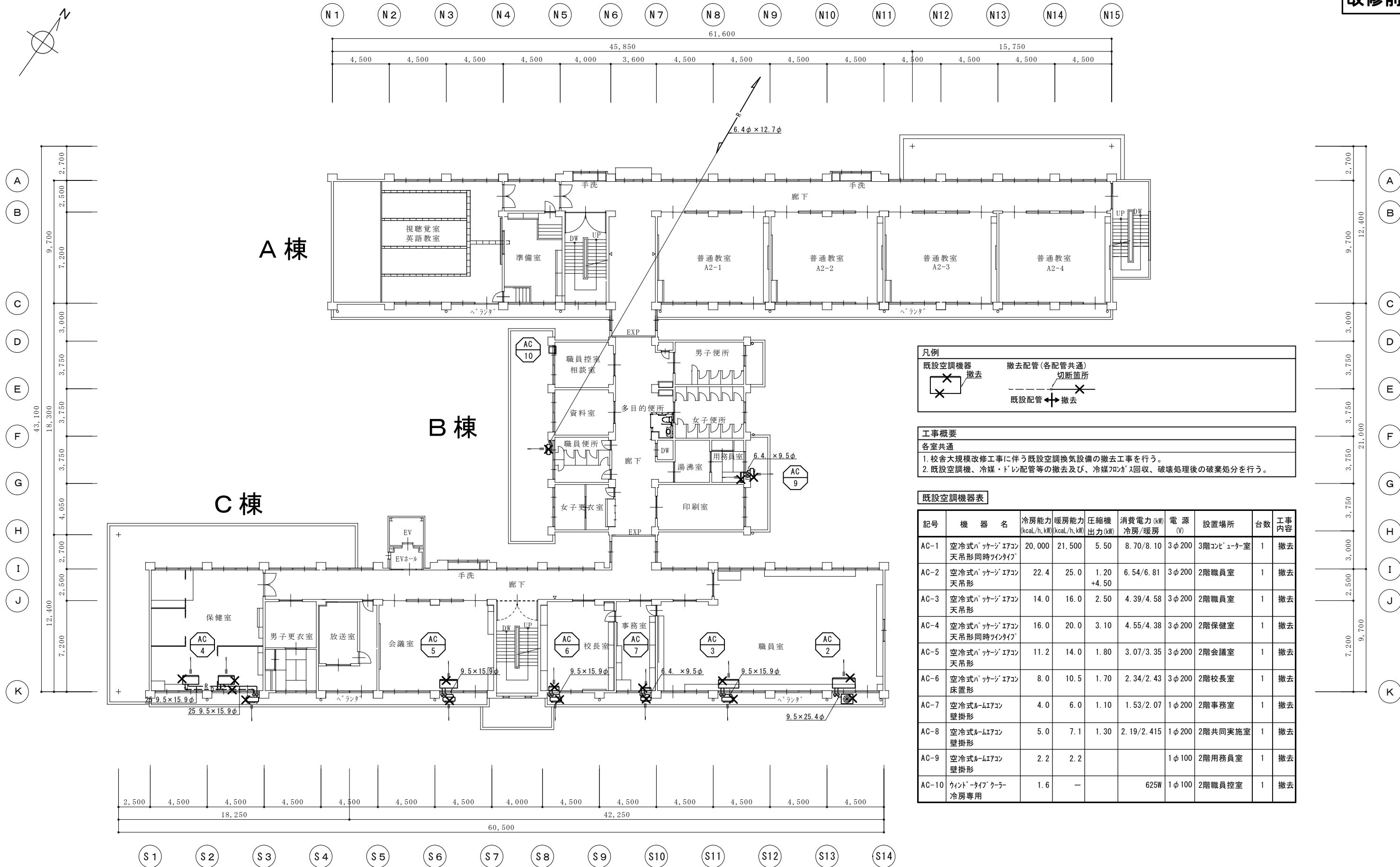
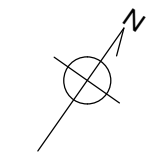
[illegible]

※ 工事期間の内、空調機器室内機の据付け工事は、４月２７日から５月６日を主とする。

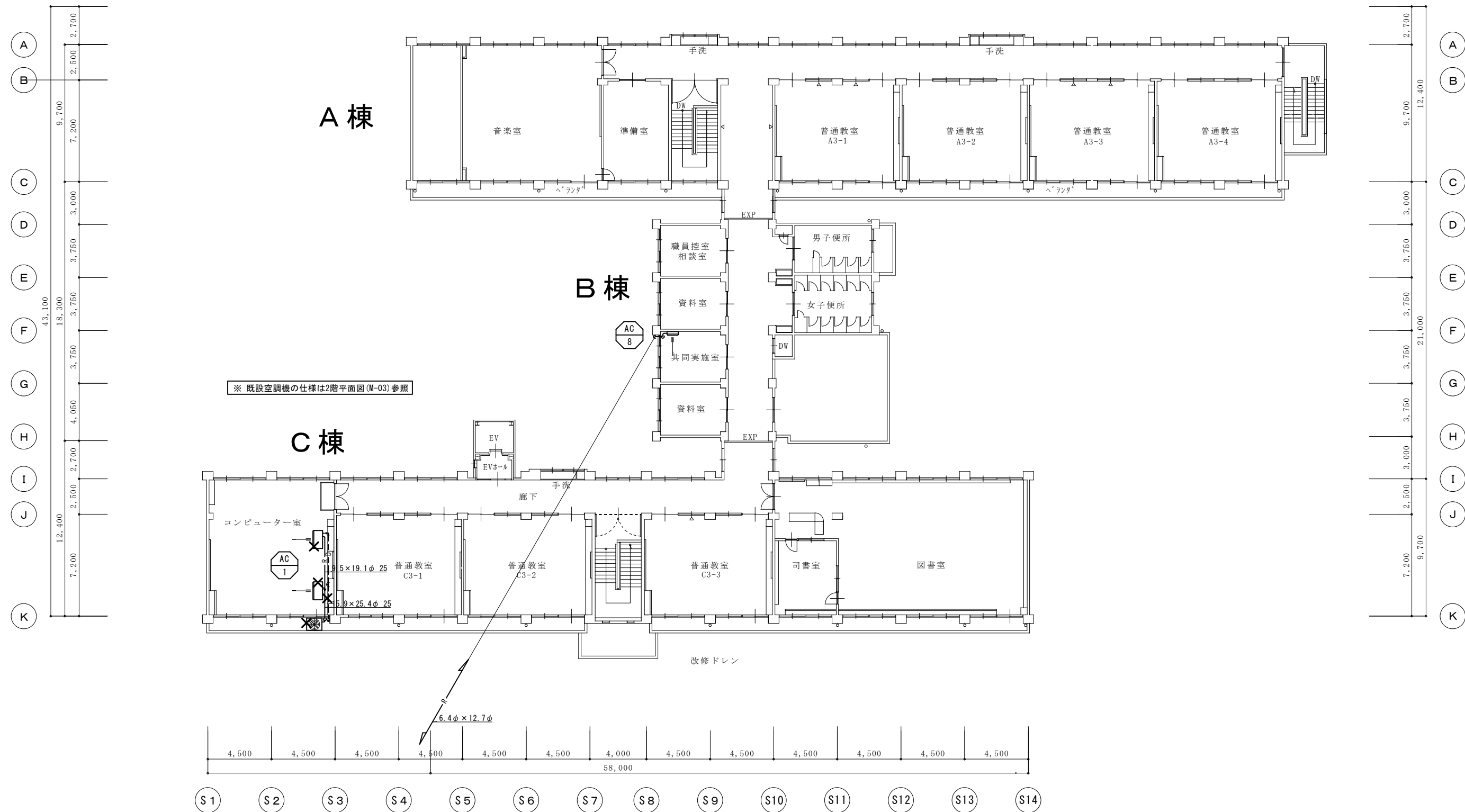
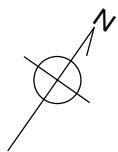


※ 7カ-引き抜き試験は室内機一台に付7カ-1本とし、室内機荷重以上の引っ張り強度を確保することを確認すること。  
全数目視接触打音検査を行うこと。

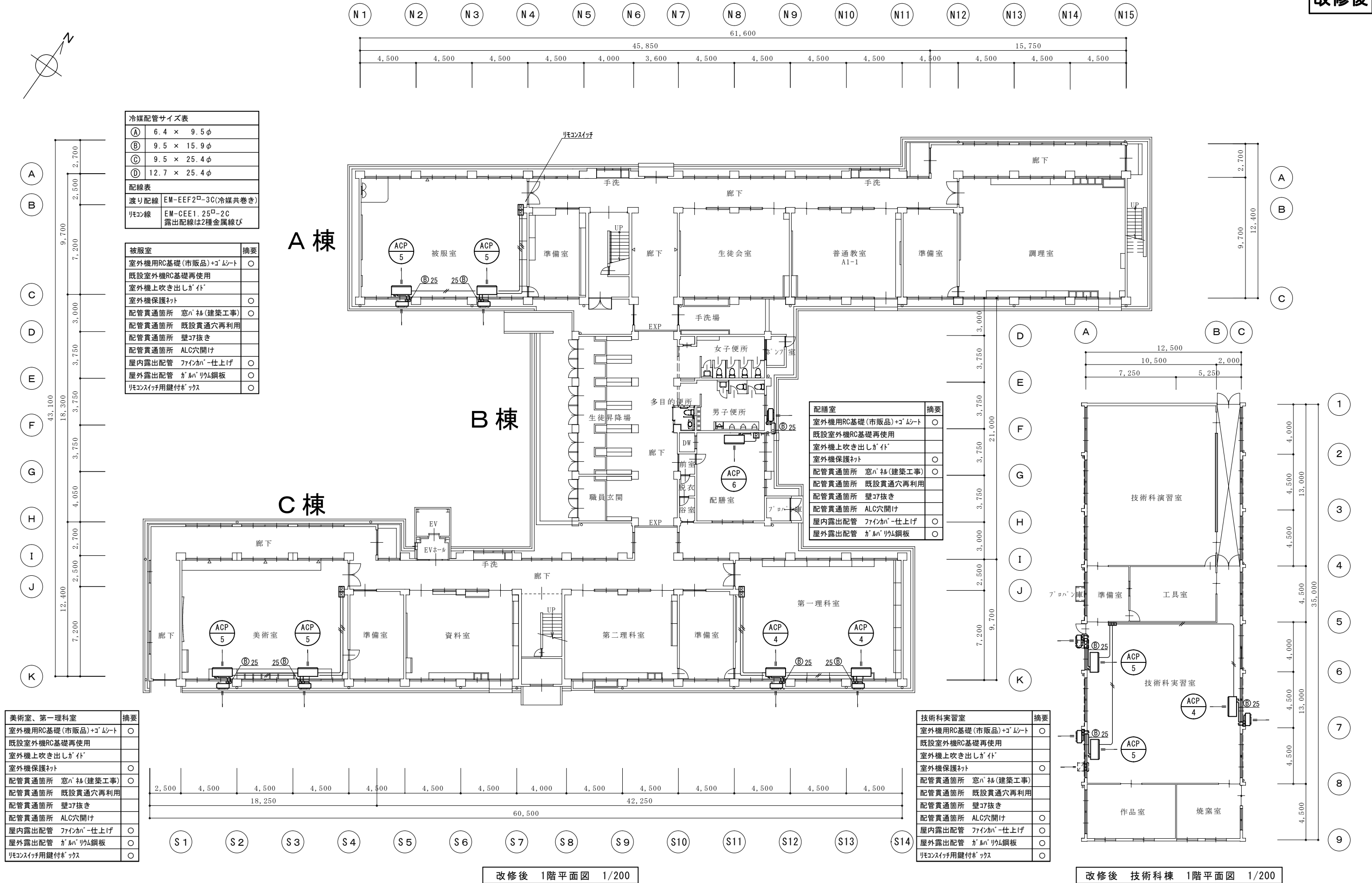
空調機設置 断面図 1:50

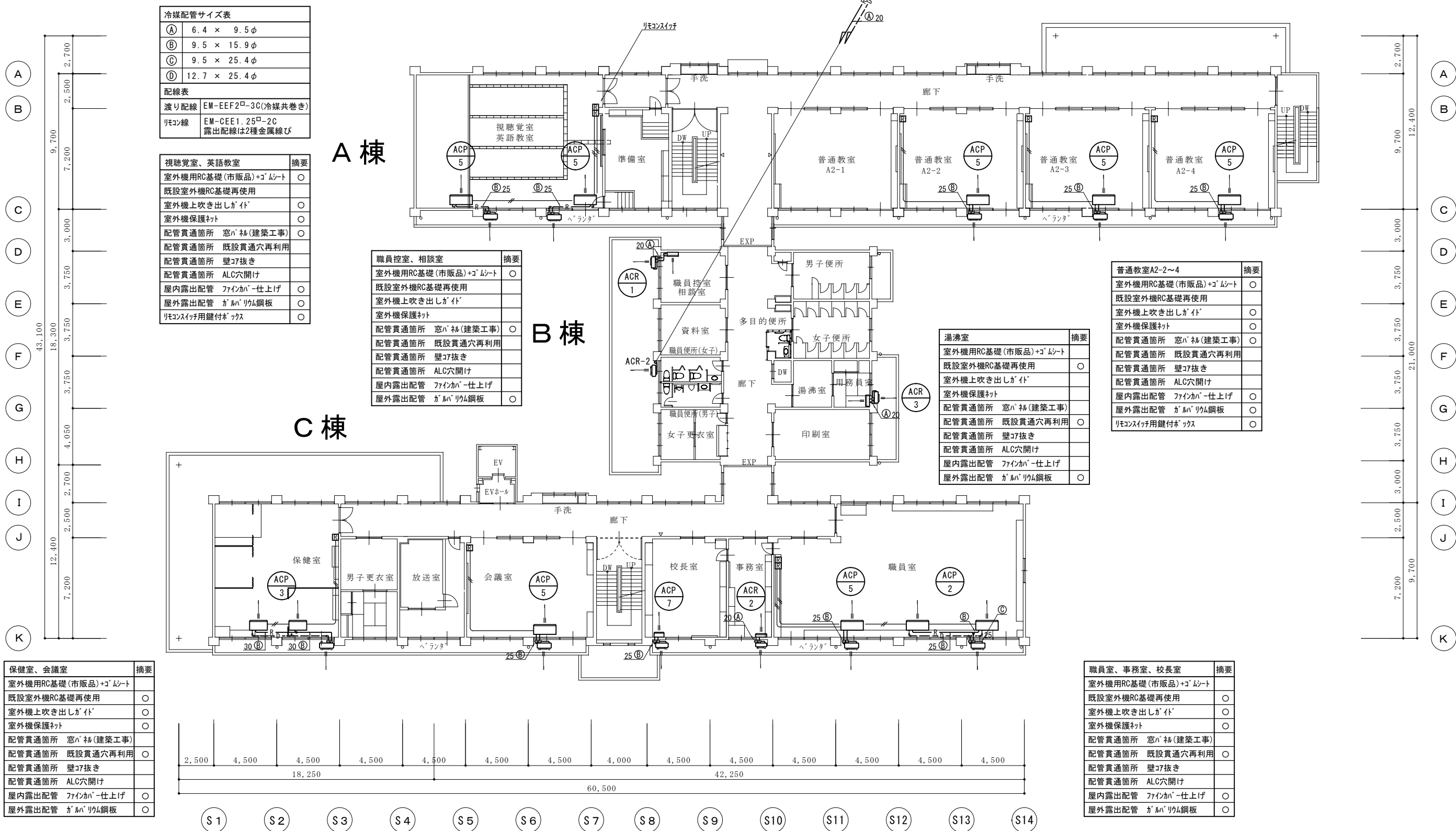
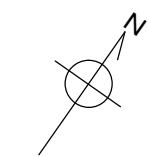


改修前 2階平面図 1/200

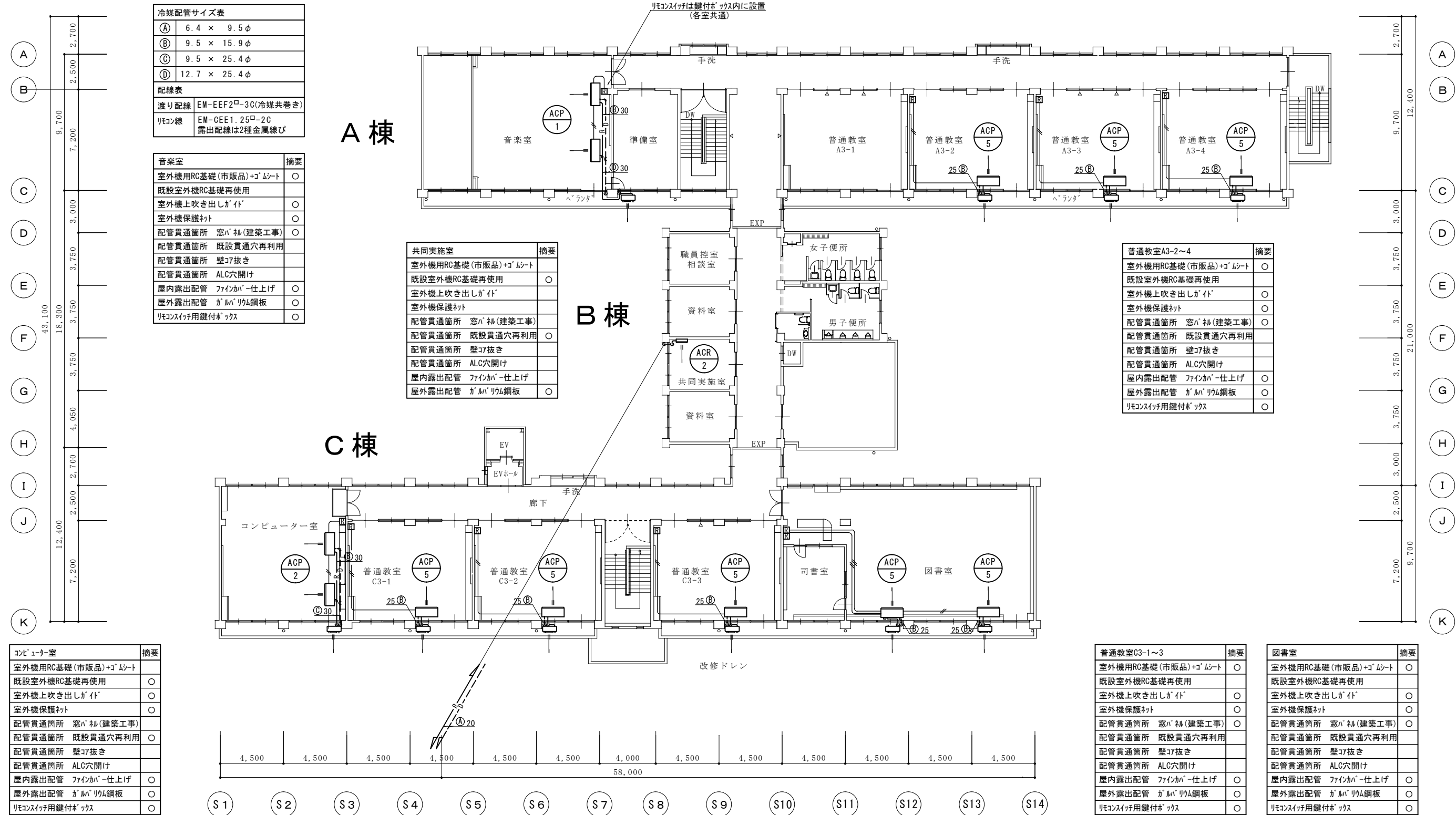
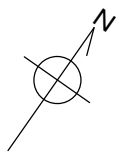


改修前 3階平面図 1/200





改修後 2階平面図 1/200



改修後 3階平面図 1/200

工事名称 磯部中学校 空調機設置工事

## 特記仕様書

## I. 工事概要

1. 工事場所 三重県志摩市磯部町
2. 工事期間 工事期間の内、空調機器室内機の据付け工事は、4月27日から5月6日を主とする。

3. 工事種目（○印の付いたものが対象工事種目）

工事種目	工事種別				屋外-その他
	校舎	技術科棟			
・電灯設備					
・動力設備	○	○			
・電気自動車用充電設備					
・電熱設備					
・雪保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
・火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・構内配電線路					
・構内通信線路					
・テレビ電波障害防除設備					
・建築工事	別図による				
・機械設備工事	別図による				

4. 指定部分   ・ 無   ・ 有 対象部分

## Ⅱ. 工事仕様

章	項 目	特 記 事 項
○ 1 — 般 事 項	1 環境への配慮	<p>1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成28年2月閣議決定）」による特定調達品目の場合は、判断の基準等を満たすものとする。</p> <p>2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <p>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウレタン樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分は次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <p>① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</p> <p>② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</p> <p>④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p>
	2 材料・機材の品質等	<p>1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。</p> <p>① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③ 安定的な供給が可能であること。</p> <p>④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。</p>

項目

特記事項

3 足場その他

</

	項 目	特 記 事 項
一般事項	10 建設発生土の処理	・ 構内敷きならし ・ 本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。
	11 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びブチレノンの濃度を測定し、監督職員に報告する。 なお、測定はバッチ式採取機器により行う。 測定時期 ・ 工事着手前 ・ 施工終了時 測定対象室 ・ 図 示 ・ 測定箇所 ・ 図 示 ・
	12 天井仕上区分	( ) 書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	13 ハンドホール等の蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、鋳型流し込みで用途名を表示する。 構内配電線路の用途名 ( ・ 電力 ・ ) 構内通信線路の用途名 ( ・ 通信 ・ ) 共用する場合の用途名 ( ・ 電気 ・ )
共通事項	① 電気工事士	・ 最大電力 500 kW 以上の場合、第一種電気工事士により施工を行う。 ・ 最大電力 500 kW 未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。
	② 機器要図	要図の形状及び寸法は、概略を示す。
	③ 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を挿入する。
	④ フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 ○ 金属製（ステンレス、新金属も含む） ・ 樹脂製
	⑤ 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の２次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径等は、監督職員の承諾を受けて変更してもさじつかない。
	⑥ 金属管の塗装	次の露出配管は、塗装を行う。 ○ 屋外の配管 ( ・ )
	⑦ 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管（ＰＦ管）及び付属品は、タイプ－２５ のものを使用する。 なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。 ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。
	⑧ 薄鋼電線管 厚鋼電線管	薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。 屋外に使用する露出配管は厚鋼電線管とし、溶融亜めっき（Ｚ３０）仕上げとする。
	⑨ 保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線及び合成樹脂管配線の項による。
	10 最上階の埋め込み配管	最上階の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。
備考	11 地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは 0.6m 以上とする。 なお、地中配線には保護シート（２倍長以上重畳）を設ける。
	12 ハンドホールの差	ハンドホール等の鉄蓋は、鋳型流し込みで用途名を表示する。 構内配電線路の用途名 ( ・ 電力 ・ ) 構内通信線路の用途名 ( ・ 通信 ・ ) 共用する場合の用途名 ( ・ 電気 ・ )
	13 電力・電話の引き込み	電力及び電話引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外線工事負担金などの調査報告は監督職員に速やかに行う。
	14 機器取付高さ	図面に特記無き場合は、次表の「機器標準取付高さ」による。
		「機器標準取付高さ」
		電 機 器 名 称 測 点 取付高さ(mm) 電 機 器 名 称 測 点 取付高さ(mm)
		電 圧 変換装置 地上 ～ 1,800～2,000 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 天井高×0.9
		分電盤 地上 ～ 中心 1,800～2,000 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 1,300
		分電盤 床上 ～ 中心 上壁1,900以下 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,300
		分電盤 床上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 1,300
		分電盤 床上 ～ 中心 1,100 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 1,300
		分電盤 床上 ～ 中心 1,800 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 900
		分電盤 床上 ～ 中心 300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 床上 ～ 中心 150 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 500～1,800
		分電盤 床上 ～ 中心 150～200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 200
		分電盤 地上 ～ 中心 500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 800 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 150
		分電盤 地上 ～ 中心 2,100～2,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 200
		分電盤 地上 ～ 中心 2,000～2,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 150 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,100
		分電盤 地上 ～ 中心 200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,100
		分電盤 地上 ～ 中心 200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,100
		分電盤 地上 ～ 中心 200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,100
		分電盤 地上 ～ 中心 200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,100
		分電盤 地上 ～ 中心 200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,500
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 2,100
		分電盤 地上 ～ 中心 200 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,300 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 300
		分電盤 地上 ～ 中心 1,500 電 圧 変換装置 床上 ～ 中心 800～1,50

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

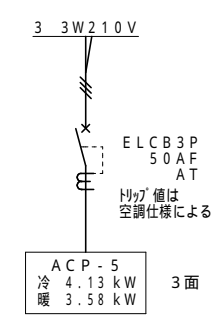
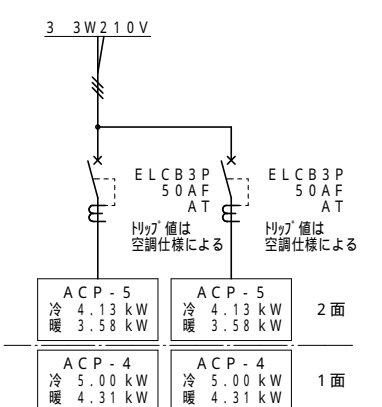
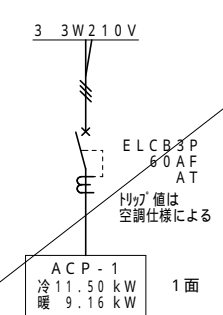
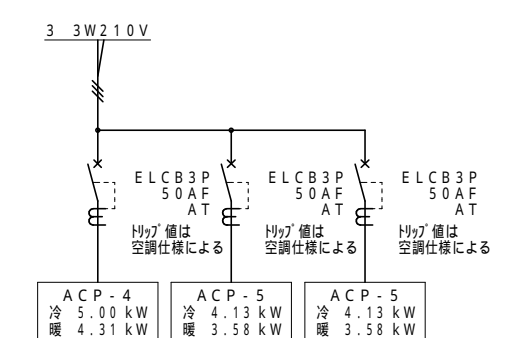
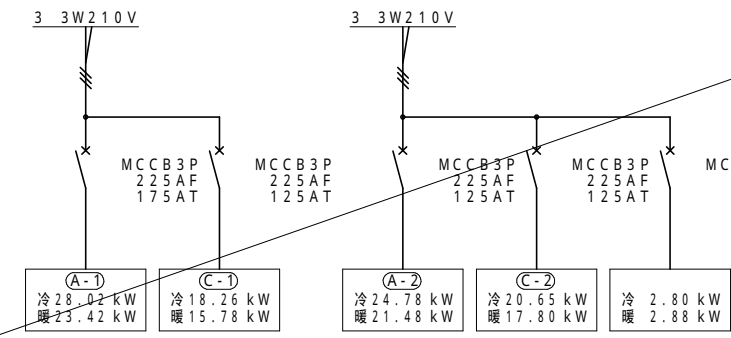
※

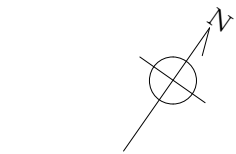
※

※

<



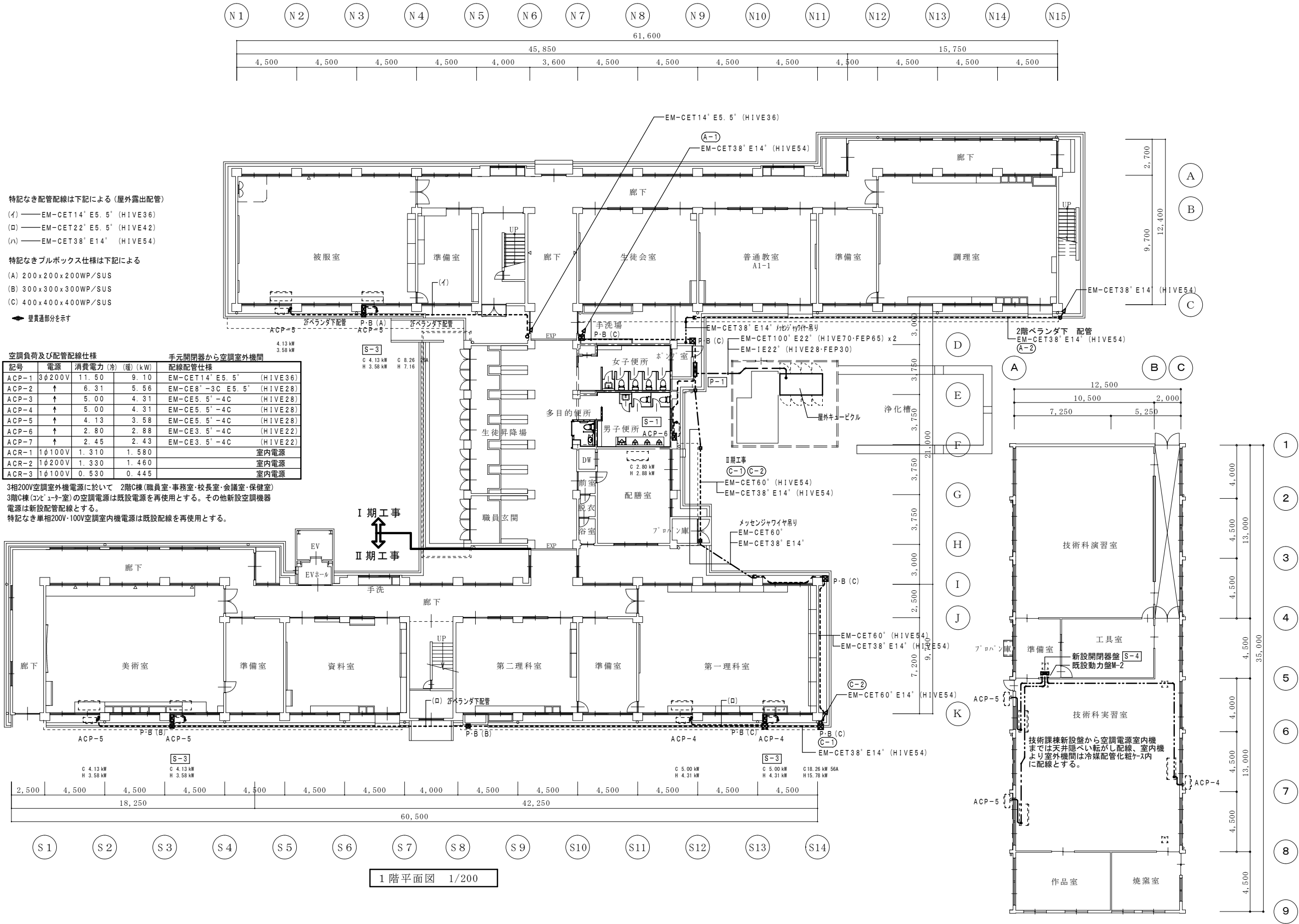
<div>S - 1 屋外SUS防水型 10面 (メーカー標準品)</div> <div></div>		<div>S - 3 屋外SUS防水型 4面 (メーカー標準品)</div> <div></div>									
<div>S - 2 屋外SUS防水型 1面 (メーカー標準品)</div> <div></div>		<div>S - 4 屋内銅板製 1面 (メーカー標準品)</div> <div></div>									
<div>P - 1 屋外SUS防水型 1面 (メーカー標準品)</div> <div></div>											



A棟

B棟

C棟



技術棟 1 階平面図 1/200

※ 技術棟の建物位置は配置図を参照すること



